

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆2月消費者心理、0.2ポイント低下 基調判断「足踏み」

・内閣府が発表した2月の消費動向調査で消費者態度指数(2人以上の世帯、季節調整値)は前月から0.2ポイント低下し、35.0。3カ月連続で低下。基調判断は「足踏みがみられる」で据え置いた。指数を構成する4項目のうち「暮らし向き」「収入の増え方」など3項目が下がった。1年後の物価が「上昇する」との回答は引き続き9割を超えた。

◆全産業の経常利益、10～12月13.5%増 法人企業統計

・財務省が発表した2024年10～12月期の法人企業統計によると、全産業(金融・保険業を除く)の経常利益は28兆6919億円で、前年同期と比べて13.5%増。2四半期ぶりにプラスに転じ、10～12月期として過去最高。価格転嫁の進展などで売上高も過去最高となった。製造業の経常利益は26.7%増の11兆2203億円だった。

◆1月の有効求人倍率、1.26倍に上昇 失業率は2.5%

・厚生労働省が発表した1月の有効求人倍率(季節調整値)は1.26倍と、前月から0.01ポイント上昇。求人数が増え、仕事を探す人が減った。賃上げが広がり、転職活動をやめて今の仕事にとどまる動きがあった。1月の有効求人数は前月比で0.2%増えた。有効求職者数は0.3%減った。1月の完全失業率は2.5%で、前月比で横ばいだった。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆ダイキン井上名誉会長「25年に北米首位、可能性は大」

・ダイキン工業の井上礼之名誉会長が日本経済新聞などの取材に応じ、世界最大の北米空調市場で2025年のシェア首位獲得について「可能性は大だと思う」と話した。日本や欧州ではトップだが、北米は米トレイン・テクノロジーに迫る2位だ。24年6月に会長を退任後も月に1回程度は海外出張しているという。

◆中小企業の7割「サイバー対策していない」必要性感じられず?

・経済産業省がこのほど公表した、中小企業のサイバーセキュリティ対策に関する実態調査結果によると、約7割の中小企業でサイバー対策を行われていないことが分かった。「専門部署がある」と答えた企業は9.3%で、過去調査よりわずかに増えたが、「兼務担当者が任命されている」企業の割合は大きく減少している。

◆マンション再生しやすく 建て替えなど要件緩和へ法改正

・政府は老朽マンションの増加に備え、建て替え要件を緩和する。今国会に改正法案を提出し、所有者が建て替えや1棟丸ごとのリノベーションを決める際の条件を緩める。マンションは国民の8人に1人が住み、戸建てからの移住も目立つ。築40年以上の物件は20年後に3.4倍に増える見込みで対策を急ぐ。

《 注目商品 》

■ハウステック、非日常を味わうバスルーム「雅月(みやびつき)」

・非日常を味わいながら、浴室空間としての快適さを損なわない完全受注生産モデルのシステムバスルーム。一般的な戸建住宅やリフォームにも取り入れやすいよう、1坪サイズを新たにラインアップ。木曽檜、樹脂コーティングした天然檜で、耐久性に優れた浴槽を採用。



■コロナ エコキュート マイクロバブル発生装置を内蔵

・マイクロバブル発生装置を内蔵し、湯はり、保温、たし湯を自動で行うフルオートタイプのエコキュート。貯湯ユニットにマイクロバブル発生装置を搭載し、浴槽のお湯に直径1～100マイクロメートルの「ウルトラファインバブル」を含んだ多量の泡を発生、白濁したお湯をつくりだす。



■永大産業、スタイリッシュな間接照明部材

・シューズボックスなどの収納製品とセットで設置可能な間接照明部材。玄関やリビングに合わせた照明を選定し、光源の調整なしでイメージ通りの明るさを実現。リラックスできる電球色とクールな昼光色の2種類から選べる。

